

東京都庭園美術館 指定管理者候補者の選定理由（審査委員会議事要旨）

施設名	選定理由	今後の運営に際しての留意点
東京都庭園美術館	○東京都との緊密な連携体制がとられている。また、都立の各文化施設との協働・連携がスムーズに行われる仕組みが整っている。東京都の戦略ビジョンに対応した取り組みについても、他の施設と連携できるという強みを生かし、より効率的、効果的な取り組みが期待できる。 ○歴史的建造物の保存と活用、装飾芸術の振興という、庭園美術館の特質性を生かした計画が作られている。 ○旧朝香宮邸の美術・建築的な特性を生かした企画展が計画されており、多様なジャンルや異なる時代の表現を積極的に紹介している。 ○庭園美術館の特徴でもある芝庭、日本庭園、西洋庭園を活用し、多くの人々が親しみ、楽しめるプログラムが実施されている。また旧朝香宮邸を展示だけでなく、コンサートなど多様に活用することにより、その魅力を生かした事業提案がされている。 ○他の都立の施設や財団本体との連携により、新たにクリエイティブ・ウェル事業を実施するなど、今後より幅の広い人々に向けて充実したプログラムが実施されることが期待できる。 ○ウェルカムルームでは、利用者の目線を大事にした丁寧な企画がなされており、展覧会や教育普及事業との相乗効果が期待できる。 ○ユニーク・ベニューとしての施設貸し出しにも取り組んでいるが、こうした活用により施設の魅力発信に役立ててほしい。 ○目黒・白金台地域の美術館や文化施設との連携事業等の計画は重要な視点として評価できる。	○施設の中心が建造物文化財である施設特性を活かし、建築とともに、美術様式としてのアール・デコについての専門研究機関としても評価される博物館として充実を図っていただきたい。 ○学芸員の配置とそれぞれが担う専門領域等の業務については、今後も、展覧会の企画以前に、文化財としての建造物やアール・デコ様式を中心とする美術史的分野の調査研究やコレクション管理等、中核的な基本業務の充実を柱に人員の構成や育成に取り組んでいただきたい。